工業つ子

No. 106
—発行日—
2014. 10. 29
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

就職試験、今年も順調！

現在就職内定率９２％

（十月二十三日現在）

九月十六日から始まった就職試験も、落ち着いてきました。そこで就職試験を終えて、進路指導の上野先生と、三年生の学年主任の松瀬先生にお話しを聞いてきました。

大切なのは日頃の行動

■上野先生

Q今年の一次試験の合格率はどうですか？

―今年は現在９２％で去年と比べてかなり良い。

Q今回の結果からどう考えますか？

―まず、落ちる人の多くは元気がなく面接で落ちされる。

日頃の行動がはっきりでるため、早い段階から自分をアピールできるように練習しておかなければならない。

Q大卒に負けない長工生の強みを教えてください。

―会社はものづくりに対して興味、ある程度の知識を持っている生徒を欲しがるため、毎年多くの求人がよせられる。

Q合格した三年生が卒業までにやっておくべきことを教えてください。

―受かったからといって油断しないこと。試験に向けて積み重ねてきたことを続け、体を壊さないように管理をすること。

▶ 丁寧に答えられる上野先生

その他にも安易な気持ちでのSNSへの書き込みで内定を取り消されるということもあるようなので気を付けてほしい、とのことでした。

■松瀬先生

「それぞれの生徒がよく頑張っていた。内定をもらうまでにお世話になった人達に感謝して、恩を仇で返すような行為をしないように。そして、残りの高校生活を大切に」と今年の就職試験を振り返って話されました。また、一・二年生には「普段の生活が面接試験にあらわれ、毎日の授業が筆記試験を左右する」とアドバイスを頂きました。

明日をつかめ！ 就職試験体験記 PART2

私は、今年初めて女子の受験生が集まり、試験の試験を受けました。県外に出る事に関しては、自分のやりたいことができる職場ならばどんなに遠くても問題ないと考えていたのであまり悩みませんでした。約三十五名の受験生が集まり、試験は和やかな雰囲気で行われました。会社の寮に一泊しましたが、荷物は補助バッグ一つに収まる程度で十分。また、他校の生徒とは一緒に食事をするなどして、すぐに仲良くなることができました。

試験は全体的に思っていたよりも楽しいものでしたが、帰宅するまでが就職試験ということでまっすぐ帰宅。最後まで緊張感を保ち終えることができました。（甲斐田）

親のおもい…

程よい気候で涼しく過ごせた秋も、段々肌寒くなってきました。いかがお過ごしでしょうか。やはり秋といえば読書の秋。ということでこの季節には、読書週間が設けられていますが、そこで読んだ本が何かのきっかけとなり、思いが広がることもあるでしょう。

私も「おおかみこどもの雨と雪」という本を久しぶりに読み、両親に感謝の気持ちを持たなければならないと、改めて考えるようになりました。

このお話は人間の「花」がおおかみおとこと出会うところから始まり、その子供である「おおかみこども」の「雪」と「雨」を彼女がそれぞれの道へと送り出すことで幕を閉じます。

不安な気持ちを抱えつつも、雨と雪を笑顔で送り出す花の姿から親の偉大さに気づかされました。

何気ない日が続く中、補習などで朝が早い日も、起きればいつも母が、私たちの朝食や弁当を作ってくれています。そして、そのころには家族の為に既に仕事場に出勤している父。そんな両親には感謝してもしきれないほどです。それと同時に今までついつい親に反抗してきたことに対して、申し訳なく感じました。

反抗してきたことのきっかけを思い返せば些細なことばかり。気遣って言ってくれていることに対して「うるさい」「黙ってて」など暴言を吐いていました。落ち着いて考えればわかることも頭に血が上ると考えられず、言い過ぎることが多々ありました。

さて、この行事が多い秋に私たちの身を心配してくれた両親。これまでの恩に対し、仇で返さぬようこれから三年間勉学と部活動に励もうと思います。また、就職試験を終え、卒業後に家を出る三年生も多いかと思います。今一度感謝の気持ちを持って新生活を始めることが、大切なのではないでしょうか。（溝上）

またまた活躍！コッコデショ案内所

全国の方をご案内！

長崎駅前かもめ広場に設置された「コッコデショ」の御輿の形を模した案内所。長工の建築科・建築研究部の先輩方によって昨年の全国総文祭長崎大会のために製作され、その際、長崎国体でも使用したいとの依頼があり、今年は国体の総合案内所となりました。

この案内所について設置現場にいらした国体実行委員の光永さんに伺うと「素晴らしい。想像していたよりも迫力がある。国体では皆さんが楽しんで無事に帰っていただけるようなおもてなしをしたいと思っています。この案内所もおもてなしの入口のブースとして活用させて貰いたい」と。長崎らしさ溢れるこの案内所。中に入って写真を撮る人もいるそうです。

現場で生徒を指導されていた西平先生は「生徒が安全に作業することできて良かった。台風の影響で設置が遅れたけど、実際に使ってくれるのが楽しみ。国体が終わったら案内所は処分する予定。形あるものはいつか壊れるのでお仕方がないけれど、やはり淋しさはある」とコメント。また案内所を作った生徒達には「頑張らんばぞ」と話されていました。

道行く人々がつい足を止めてしまう魅力的な総合案内所。これまで人々に驚きを与え、おもてなしの記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶にできた案内所が皆の記憶願います。

▶ 案内所に立ち寄る一般の方々

◀ 作り終えて、ほっ！

今日の一枚 ～好景気？～

▼お茶が…ない…。

体育祭前の渇き対策に持参した水筒は早々に底を尽きる日々ですね。自販機に潤いを求めて行ってみると、上の二列の飲み物ほとんどが売り切れ…そんなある日の今回の一枚。

気温もだんだん落ち着きはじめ、夏以来なかなか見ることのなかった赤字の「売切」マークが久々に輝いていました。

負けず劣らず、太陽も輝いて身体に照りつけていますのでくれぐれも水分補給を怠らず。（松尾）

体育祭事前インタビュー

各科熱い意気込み！

いよいよ目前に迫った体育祭！各科のリーダーに直前インタビューをしてきました。

質問内容

①目標
②意気込み
③特に力を入れたところ

◆機械科
①総合優勝。
②団結して総合優勝を勝ちとります。
③全部。他の科には申し訳ないけど。

◆機械システム科
①総合優勝。
②全部目立つ。
③パレード、ラジオ体操から全部。

◆電気科
①最低でも行進は優勝。そして総合優勝。
②３Ｆ（フィジカル・フリーム・フライング）で頑張る。
③行進。指示をするだけでなく自分も参加できた。

◆工業化学科
①今年こそ総合をもらう。
②他の科に大差をつけて勝つ。
③パレードと行進。

◆建築科
①もちろん総合二連覇。
②どの科にも負けない、Ａ科の団結力を見てください。
③パレードと応団幕。

◆インテリア科
①「団結」
②どれか一つでも優勝する！思い出に残る体育祭にしたい。
③全部！

◆電子工学科
①綱引き三連勝。
②目指せ優勝。
③パレードのダンスでの切れの良さとステップ。

◆情報技術科
①いずれかの種目で入賞
②Ｊ科革命を起こすぜ！（ベイビー）
③パレード（はぁと）

今年の体育祭も熱い闘いになりそうです。

青春日記

国体の補助、体育祭の練習などにより、野外で活動をすることが多かった今月。少し前と比べ発汗量はかなり減少しましたが、地肌に突き刺さる紫外線だけが気になっていました。連日のように剥がれ落ちる頭皮に、毛根への不安を感じざるを得ない。長工は指定の帽子を設けるべき、そうすべき。髪は長い友達。彼とは生涯を添い遂げるつもりでいましたがはたして……。

さて、度々肌を切る冷えた北風が冬将軍到来の兆しを感じさせる最近。四季としては短めの秋は既にその影を潜めようとしています。

冬はダメ人間が大量生産されてしまう恐ろしい季節。快適な生活を送るために人類が生み出した対寒テクノロジーは、その代償として対象の生産能力を著しく低下させる恐るべき技術なのです。小腹を満たす為の食料を手にし炬燵に肩まで入り込めば、そこはもはや一つの国。一度入国を果たしてしまえば、三度の食事だけでなく、用を足すことさえ億劫になってしまう程の超魅惑的空間。かく言う私も、その凄まじい中毒性に見事にハマってしまった堕落野郎の一人。

しかし私は思うのです。人間は理性により本能に抗うことができる唯一の生き物。ごろごろと伸びきっているだけでは野生動物となんら変わらない。と。猫のように暖を求めてただ丸くなっているだけでは人類の尊厳にかかわると。ということで、日本に生を受けた諸君、今こそ暖の巣を抜け出し、外の世界に飛び出そう！寒い冬ほど活動的になろう！

……そう胸の内で呟きながら横になって瞼を閉じてしまう私は真性のダメ男。こんな様子で就職してからちゃんと働くことができるのでしょうか。我ながら心底心配でありますが……。

まぁ、そんなことは目が覚めてから考えればいいよね。（山田）

長崎がんばらんば国体
長工生も色々活躍！

十月十二日～二十二日の間、四十五年ぶりに長崎で「長崎がんばらんば国体」が開催され、長工からも選手、補助員として多くの生徒が参加しました。

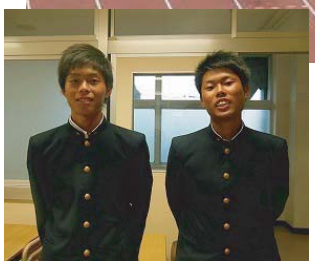
開会式 国体の幕開け

十月十二日に長崎県立諫早総合運動公園・陸上競技場で行われた開会式。観覧券の抽選に当たった村田先生に開会式の感想を伺うと「文部大臣の挨拶にもあったが台風接近の中、開催できることが奇跡の開会式だった。小中高生や幼稚園生のダンスやマーチングなど式典前演技にとても感激した。その他にも長崎らしさを感じさせるランタンの獅子もあったり、またブルーインパルスが目の前に飛んでくるなど予想以上だった。」とのこと。強く印象に残る開会式だったようです。

▶堂々とした行進

ソフトテニス 国体六位に貢献

佐世保市総合グラウンド庭球場で開催されたソフトテニス競技。本校からは少年男子の部にM3林田康介君と平川和樹君が出場六位という好成績を収めました。長崎での国体ということで会場内が長崎の応援で盛り上がっていたそうです。試合後の感想を聞くと「プレッシャーがあったけど、楽しくプレーできた」と笑顔で話してくれた林田君。また、平川君は「人が多くて緊張した」とのことでした。



▲ソフテニの林田・平川ペア

バスケットボール 応援に感謝

長崎市内で行われたバスケット競技。本校から出場した、P3山下竜平君に感想を聞きました。「負けてしまったけど、長工の人が応援に来てくれたおかげで頑張る事ができた」とはにかみながら話してくれた山下君。出場した選手みなさん、お疲れ様でした。

フェンシング 次こそ全国のレベルへ

諫早中央体育館で行われたフェンシング競技。長工からは男子フルーレにC2鈴木修平君が出場し、一回戦で敗れましたが、長崎の代表として最後まで頑張りました。感想を聞くと「長崎の人達の声援が嬉しかった。自分たちの力が全国のレベルに達していないと感じたので、これから頑張りたい」と前向きに話してくれました。

ヨット競技 悔しさを糧に

セーリング競技の会場は福田のサンセットマリーナ。少年女子代表は全員が本校のヨット部員。台風のせいで競技日程が一日少なくなったものの、その後は無事に開催されました。結果は少年女子SS級で濱本・元津ペアが十三位、少年女子SH／SR級で小林さんが十二位。彼女たちの活躍もあり、長崎県は総合七位に入賞しました。

大会後にヨット部キャプテンのI3濱本郁さんは「トラブルもあったがその後のレースでどんどん調子を上げられた。ただ最後の一レースで気負いすぎて悔しい結果となった。これも今の自分たちに意味のあるものとして、また次に繋ぎたいと思う。長工のみなさんの応援が力になりました」とコメント。顧問の三嶋先生も「今回の悔しさをエネルギーに変えて今後活躍して欲しい」と話されていました。

▼波に乗る濱本・元津ペア

最大級のおもてなしを 長工からの補助員

ヨット部員の数が少ないため、このヨット競技には新聞部やJ1、A2の生徒（計十三名）も補助員として参加。レース委員会の支持を旗で知らせるお手伝いをしたり、計測のための荷物を運んだりと、各部署で大会を支えるために微力ながら頑張りました。

参加した生徒は「海から船が帰ってきたかどうかを確認するなど、簡単そうに見える仕事も命に関わることで、お手伝いをする上で緊張しました」など、国体に参加した感想を聞かせてくれました。

長崎国体の思い出に！ お土産ブース

また、会場の端にはお土産コーナーも。大会のマスコットキャラクターのがんばくんのグッズがずらりと並んでいました。販売員の方によると、がんばくんは他県の方にも大好評とのこと。「かわいい」という声をよく聞き、お土産コーナーも賑わっていました。

かまって！
こふ工生!!!
～トミーと後輩～

仲は、良い。

シリーズ 溶接1!2!3!

次号最終回！

大会が終わり、まもなくして届いた結果によると、私はA-2F部門で十七位でした。本番で力を出すことの難しさを知りました。

溶接への挑戦はこれで終わりましたが、私は溶接を通して本気で頑張ることを学びました。最初は下手だった溶接も後輩に指導も出来るほどに成長することができました。ここで学び、身につけた技術や知識はいろんなことに通じ活かされていきます。たくさんの仲間もでき、大切な思い出をもらい、溶接で頑張った日々は私の青春そのものでした。熱心に指導してくださった先生方、そして切磋琢磨しあえた仲間に感謝です。（甲斐田）

▼ありがとう！

溶接競技 九州大会出場決定！

九月二十一日に開催された溶接の県大会の結果が先日発表されました。本校からは、P2谷内司君がN-2Fで一位、P1中村悠斗君がA-2Fで一位に入賞。二人が見事優勝を掴み取りました。そして、十一月七、八日に沖縄県で九州大会が行われます。九州大会ではN-2Fの競技が行われるので、一位の谷内君、二位のP3坂本拓史君、四位のI3山冨奏子さんの三名が出場することが決定しました。それぞれの選手にお話を聞いてみると「まさか優勝できるとは思わなかった。来年はN-2Fに出場したいので、上位を狙いたい」（中村）「自分の中ではあまり良く出来なかったので、九州大会では良い物を作りたい」（谷内）「県大会のリベンジとして、九州大会では先輩の意地を見せたい」（坂本）「九州大会では団体一位を目指して頑張ります！個人でも入賞できたらと思います」（山冨）とそれぞれ結果を受けての思いを話してくれました。

九州大会は沖縄県で行われます。慣れない地での競技になりますが、選手たちが悔いの残らないようにと力を発揮できることを願っています。

卒業生の活躍 成年女子SH級一位！ 原田小夜子さん

国体競技の一つであるセーリング競技・成年女子シングルハンダー級に、長崎工業高校の卒業生である原田小夜子さんが、長崎の代表として出場しました。結果、成年女子シングルハンダー級全国一位。そして長崎を、総合七位に導きました。

そんな原田さんに閉会式後に取材をしました。

▶次の目標はオリンピック

インタビュー

Q今の気持ちは。
―試合が終わってホッとしている。

Qヨットのいいところは。
―海と一体になれる、多くの人と競技ができる。

Q後輩へ一言。
―自分たちの世代のチームは、優勝を狙えるような強いチームではなかったけれど、今の後輩たちはとても活躍していて誇らしく思います。なので、私たちもオリンピックを目指し、後輩たちの憧れの存在となれるよう頑張りたいです。皆さんもこれから頑張ってください。応援してます。

私たちも原田さんのようにそれぞれ目標を見つけて頑張りましょう。

一年生な☆日々

過ごしやすい季節がやってきました。このコーナーを読んで下さっている皆さんのありがとうございます。この一年生なども書く人次第なんです。今回は「新聞読んで欲しいアピール」をしたいと思います。私は新聞部に入るまでは、新聞を正直、読んでいませんでした。でも読むようになってから、自分の知らなかった学校のことを知ることができたり、新聞に載っていた生徒を見ると「あっ、この人、工業っ子で見つけた時のように、テンションが上がります。そしてなんと国語力アップ！個人差はあると思いますが、新聞を読むことは一石二鳥ではないでしょうか。私は新聞部にいってから、いざ文章を書こうという時、自分の文章力のなさに愕然とし、一般の新聞も読むようになりました。小学生が新聞を読むのは難しいことかもしれませんが、もう少しで社会に出て行こうとする高校生なら新聞を読むことは余裕のよっちゃんです。皆さん、工業っ子を読んだら、新聞読んだよ！と部員に声をかけてあげて下さい。その声を聞いた時、新聞部は達成感と幸せを感じると思います。（薄田）

編集後記

体育祭前に発行するため、練習と並行して作業を進めなければいけなかった今回の号。今年の体育祭は例年以上に、どの科も気合いの入った練習を行っているようですね。いよいよ明日が本番。悔いの残らないように思いっきり楽しみましょう！